

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	ブランド産地推進事業(水産)		担当部署	経済建設部 農林水産課(室)		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱 「飛び出す」ブランド産地育成事業実施要綱 とくしま明日の農林水産づくり事業補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと	終期			未定
(小項目)	農水産業					
施策	6	水産業の振興				
基本事業	2	漁業経営の安定化とブランド化の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 県指定の本市ブランド品目等の水産物						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市の水産物の更なる発展・市場における競争力の保持と販売ルートの拡充を実現し、ブランド化の強化を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		農水産物フェア来場者数	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	水産物の販売や消費促進のため、新鮮な水産物の捌き方を生産者が直接指導する「旬の魚の捌き方教室」や「鳴門わかめの料理教室」、県内外でのPR活動を行った。さらに、北灘地区では、販路拡大に繋げるため、直販施設のポスター及びパンフレットを作成した。また、本市の特産物である「鳴門鯛」「鳴門わかめ」「なんと金時」等の新鮮な魚や農産物等を販売し、消費者に対する安全・安心をアピールするため、農水産物フェアと軽トラ市を実施した。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 県内外PR活動	13	12	12	12	12	回
	2 料理教室・産直市等開催回数	7	7	7	7	7	回
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	農水産物フェア来場者数	5,000	9,500	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		190.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	4,715	3,692	3,682	3,682	3,682	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	1,935	495	898	898		898
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	250	312	251	251		251
		一般財源	2,530	2,885	2,533	2,533		2,533
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		0	0	0	0	0	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)							
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		4,715	3,692	3,682	3,682	3,682	千円	

【事務事業名:ブランド産地推進事業(水産)】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	水産物の販売や消費促進のため、新鮮な水産物の捌き方を生産者が直接指導する「旬の魚の捌き方教室」や、「鳴門わかめの料理教室」を実施する。また、販路拡大のため、県内外でPR活動等を実施する。さらに、本市の特産物である「鳴門鯛」「鳴門わかめ」「なると金時」等の新鮮な魚や農産物・加工品等を販売し、消費者に対する安全・安心をアピールするため、農水産物フェアと軽トラ市を実施する。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	水産業の振興を図る際に、ブランド化の推進は重要であり、廃止した場合、産地としての維持や本市水産業の発展に影響を及ぼす恐れがある。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 水産業の振興 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	本市における水産業の振興を図る際に、水産物のブランド化を促進することは、欠くことができない重要な施策である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	水産業における振興の指導者的役割を担う組織である、漁業協同組合等が直接主体となり、販売(PR)活動等を実施しており、他の実施方法はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				